

鼻

口

ほうじゅの

選べる胃カメラ

～ 安心して検査を受けるために～

当院の上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）は、「鼻から」と「口から」の2つの方法を用意しており、検査を受けられる方の希望に沿って、最適な方法をご提案します。それぞれの検査方法には特徴や注意事項があるため、よく確認してから選択しましょう。

～ 希望・目的別の検査方法 ～

CASE 1 … 検査がイヤ・不安がある

「オエッ」と
なるのがイヤ!

検査が怖い

なるべく
ラクに
受けたい



不安を
軽くして
ほしい

当院のオススメ

- 鼻から または
- 口から（鎮静剤あり）

鼻から入れる方法は、「オエッ」となりにくく、ラクに検査が受けられます。不安が強い方には、鎮静剤を使った口から入れる方法をお勧めします。



CASE 2 … 症状がある・精密検査をしてほしい など

できるだけ
詳しく
診てほしい

健診で
要精密検査
になった

最近
胃の調子が
わるい



当院のオススメ

- 口から
（鎮静剤あり・なし）

拡大機能付きのハイビジョンカメラを使用する口からの方法をお勧めします。

※ 外来では 医師が検査方法を判断します



CASE 3 … 検査当日 車などを運転する

自分の
車じゃないと
行けない



検査後に
車を使う
用事がある

当院のオススメ

- 鼻から または
- 口から（鎮静剤なし）

「オエッ」となるのがイヤな方は鼻からの検査、しっかりと診てほしい方には、鎮静剤を使用しない口からの検査をお勧めします。

※ 鎮静剤は使用できません



それぞれの検査方法の詳細は 裏面へ ▶▶▶

～ それぞれの検査方法について ～

鼻

から入れる検査方法

胃カメラが苦手な方は
一度お試しください！



メリット

- 「オエッ」となりにくく、苦痛が少ないため鎮静剤が不要
- 検査後の行動に制限を受けない
- 口からのカメラに次ぐハイビジョンカメラを使用

検査当日も運転できます

気をつけるポイント

OK!



- ▲鼻腔が狭い場合などカメラを挿入できない場合がある
→ 挿入できない方は 50人に1人(2%)程度
- ▲まれに鼻出血を起こす可能性がある
- ▲治療が必要な病変が見つかった場合、改めて口からの挿入が必要

口

から入れる検査方法



メリット

- より高精細なハイビジョンカメラで検査が可能
- 鎮静剤を使用する場合は不安感を軽減できる
- 治療が必要な病変が見つかった場合、柔軟な対応ができる

鎮静剤を使用した場合
検査当日の運転 終日禁止



気をつけるポイント

- ▲カメラが舌の付け根に触れて「オエッ」となり苦痛を伴う
- ▲不安を軽減するには鎮静剤の使用が有効
- ▲鎮静剤を使用すると検査後の行動や運転に制限を受ける

～ 注意事項 ～

- ・嘔吐反射（オエッとなる）の強さや検査中の違和感には、個人差があります
- ・ご高齢の方、基礎疾患をお持ちの方は、医師の判断により鎮静剤を使用できない場合があります
- ・鼻からの検査方法は、鼻腔内の形状や鼻の疾患などによりカメラを挿入できない場合があります
- ・鎮静剤使用を希望される場合、検査当日は公共交通機関や送迎にてお越しください

202504